

平成 17 年 教室業績 (2005 年 1 月～12 月)

(A) 原著論文

- 1) 遠藤勝久、佐々木誠、牧野伸二: 網膜色素上皮の microrip の光干渉断層計所見. 眼臨 99:457-459, 2005.
- 2) 遠藤勝久、佐々木誠、牧野伸二、水流忠彦: 神経線維腫症に合併した congenital retinal macrovessel の 1 例. 眼臨 99:887-890, 2005.
- 3) 遠藤勝久、牧野伸二、金上千佳、金上貞夫: 上顎洞癌切除後患者にみられた水晶体嚢真性落屑. 臨眼 59:1948-1949, 2005.
- 4) 藤村茂人、蕪城俊克、秋山和英、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊、新家眞: 東京大学病院眼科における内眼炎患者の統計的観察. 臨眼 59:1521-1525, 2005.
- 5) 橋本尚子、原岳、久保田俊介: 第 3 併用薬としての塩酸ブナゾシン点眼薬の眼圧下降効果. 臨眼 59:359-362, 2005.
- 6) 橋本尚子、原岳、水流忠彦: 線維柱帯切除後に遅発性脈絡膜剥離を生じた 1 症例. 眼科手術 18:563-566, 2005.
- 7) 伊藤浩一、野寄清美、西村香澄、佐藤美保、堀田喜裕、加藤勝、岩崎聡、水流忠彦: 高度の聴覚障害を合併した前眼部形成不全の 1 例. 眼臨 99:593-595, 2005.
- 8) 神原千浦、牧野伸二、田邊和子、清水由花、伊野田繁: 初回閉鎖を得た特発性黄斑円孔術後の長期視力経過. 眼科手術 18:113-116, 2005.
- 9) 牧野伸二、竹澤貴美子、久保田みゆき、近藤千佳、金上貞夫: 硝子体出血と乳頭周囲網膜下出血を伴った傾斜乳頭症候群の 1 例. 臨眼 59:277-281, 2005.
- 10) 牧野伸二、酒井理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子: 上斜筋付着部異常の 1 例. 眼臨 99:406-409, 2005.
- 11) 牧野伸二、木野内理恵子、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕子: 先天性 Brown 症候群の MRI 所見. 日本視能訓練士協会誌 34:133-137, 2005.
- 12) 牧野伸二、木野内理恵子: 先天性上斜視筋麻痺に対する下斜筋前方移動術の手術成績. 眼科手術 18:589-595, 2005.
- 13) 森加奈、牧野伸二、橋本尚子、森樹郎、水流忠彦: 進行性網膜下線維増殖を伴った多発性脈絡膜炎の 1 例. 眼紀 56:113-117, 2005.
- 14) 本山祐大、蕪城俊克、平岡美依奈、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊: ベーチェット病併発白内障に対する手術の発作に与える影響. 臨眼 59:1411-1415, 2005.
- 15) 蕪城俊克、川島秀俊、吉田淳、越野崇、藤村茂人、藤野雄次郎、秋山和英、沼賀二郎: ぶどう膜炎患者の血清中 soluble CD44 濃度. 平成 16 年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成 16 年度研究業績:45-50, 2005.
- 16) 中村聡、堀貞夫、島川真知子、望月学、杉田直、川島秀俊、上野聡樹、大野重昭: ベーチェット病患者を体操とした抗 T N F - 抗体の前期第 相臨床試験成績. 臨眼 59:1685-1689, 2005.
- 17) 小幡博人、青木由紀、久保田俊介、金井信行、水流忠彦: 眼瞼・結膜の良性腫瘍と悪性腫瘍の発生頻度. 日眼会誌 109:573-579, 2005.
- 18) 小幡博人、青木由紀、久保田みゆき、水流忠彦: ディフ・クイック染色による塗抹検査が有用であった真菌性角膜潰瘍の 3 例. 臨眼 59:1287-1291, 2005.

- 19)佐々木誠、原岳、橋本尚子、水流忠彦:選択的レーザー線維柱帯形成術とアルゴンレーザー線維柱帯形成術の効果比較. 眼臨 99:633-637,2005.
- 20)杉紀人、梯彰弘、斉藤由香、大野隆一郎、木下望、牧野伸二、安隆則、黒木昌寿、加園恵三、川上正舒:STZ誘発糖尿病ラットの網膜微小循環に対するニコランジルの影響. Therapeutic Research 26:364-365,2005.
- 21)高橋寛子、落合万理、唐津裕子、鎌田あすか、佐藤久美、田中育美、落合憲一、猪木多永子、木野内理恵子、橋本尚子、牧野伸二:外傷後に片眼性水平半盲様視野障害をきたした心因性視覚障害の1症例. 日本視能訓練士協会誌 34:151-156,2005.
- 22)高本光子、川島秀俊、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎:ベーチェット病に対する第一選択薬コルヒチン使用中にCK値の上昇を認めた5例. 平成16年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班平成15年度研究業績:75-78,2005.
- 23)高本光子、川島秀俊、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎:コルヒチンにより血清中CK上昇を認めたベーチェット病の6例. 臨眼 59:1691-1694,2005.
- 24)高本光子、川島秀俊、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎:レミケードを3年以上にわたり投与を継続したベーチェット病の1症例. 平成17年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成17年度研究業績:58-62,2005.
- 25)竹澤美貴子、小幡博人、水流忠彦:両側涙腺のMALTリンパ腫の1例. 臨眼 59:1149-1152,2005.
- 26)竹澤美貴子、小幡博人、中野佳希、青木真祐、猪木多永子、水流忠彦:自治医科大学における過去5年間の感染性角膜潰瘍の検討. 眼紀 56:494-497,2005.
- 27)横山由晶、牧野伸二:傾斜乳頭症候群の光干渉断層計所見. あたらしい眼科 22:551-553,2005.
- 28)吉田淳、川島秀俊、沼賀二郎、蕪城俊克、藤野雄次郎:ベーチェット病に対するステロイド内服症例の検討.平成16年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成16年度研究業績:65-69,2005.
- 29)Colarossi C, Chen Y, Obata H, Jurukovski V, Fontana L, Dabovic B, Rifkin DB: Lung alveolar-septation defects in LTBP-3-null mice. Am J Pathol 167:419-428,2005.
- 30)Kaburaki T, Sato S, Kawashima H, Sakurai S, Numaga J, Fujino Y, Araie M: A hypopyon is a sign of post-trabeculectomy endophthalmitis or not? Eye 19:692-693,2005.
- 31)Kunimatsu S, Tomita G, Araie M, Aihara M, Suzuki Y, Iwase A, Koseki N, Matsumoto S, Yamazaki Y, Yoshikawa K: Frequency doubling technology and scanning laser tomography in eyes with generalized enlargement of optic disccupping. J Glaucoma 14:280-287,2005.
- 32) Kunimatsu S, Tomidokoro A, Mishima K, Takamoto H, Tomita G, Iwase A, Araie M: Prevalence of appositional angle closure determined by ultrasonic biomicroscopy in eyes with shallow anterior chambers. Ophthalmology 112:407-412,2005.
- 33)Maejima Y, Yasu T, Ueda H, Kobayashi N, Hashimoto S, Kubo N, Kakehashi A, Isobe M, Kawakami M, Saito M: Exercise after heparin administration: New therapeutic program for patients with-option arteriosclerosis obliterans. Circulation Journal 69:1099-1104,2005.
- 34)Mazzieri R, Jurukovski V, Obata H, Sung J, Platt A, Annes E, Karaman-Jurukovska N, Gleizes P-E, Rifkin DB: Expression of truncated latent TGF-beta-binding protein modulates TGF-beta signaling. J Cell Sci 118:2177-2187,2005.
- 35)Numaga J, Koseki N, Kaburaki T, Kawashima H, Tomita G, Araie M: Intraocular metabolites of isopropyl unoprostone. Curr Eye Res 30:909-913,2005.

36) Oharazawa H, **Ibaraki N**, Ohara K, Reddy VN: Inhibitory effects of Arg-Gly-Asp(RGD)peptide on cell attachment and migration a human lens epithelial cell line. Ophthalmic Res 37:191-196,2005.

(B) 学会発表

1) **青木由紀、小幡博人、牧野伸二、近藤千佳、金上貞夫**: 牽引性網膜剥離を伴った視神経乳頭部の結節性毛細血管腫の1例. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

2) **遠藤勝久、牧野伸二、近藤千佳、金上貞夫**: 上顎洞癌術後患者にみられた水晶体嚢真性落屑の1例. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月9日.

3) **藤村茂人、蕪城俊克、灰野誠、藤野雄次郎、沼賀二郎、吉田淳、川島秀俊**: マウス実験的ぶどう膜炎におけるケモカインレセプターCXCR3, CCR5の役割. 平成17年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班会議、福島、2005年12月.

4) **藤代貴志、国松志保、松尾寛、富所敦男、新家真**: 末期緑内障眼に対する線維柱帯切除術 術後経過とそれに関連する因子. 第16回日本緑内障学会、熊本、2005年9月16日.

5) **原岳、原玲子、原孜、原たか子、水流忠彦**: 生活姿勢で再構成した24時間眼圧日内変動. 第109回日本眼科学会総会、京都、2005年3月24日.

6) **原岳、原孜、成田正弥、原玲子、原たか子**: プリンゾラミンドの就寝時臥位眼圧の下降効果の検討. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

7) **橋本尚子、原岳、水流忠彦**: 線維柱帯切除後に遅発性脈絡膜剥離を生じた1症例. 第28回日本眼科手術学会、大阪、2005年1月28日.

8) **橋本尚子、原岳、久保田俊介、水流忠彦**: 座位と臥位における眼圧差と臥位時眼圧の経時的変化の検討. 第109回日本眼科学会総会、京都、2005年3月26日.

9) **橋本尚子、原岳、水流忠彦**: 上腕部血圧と眼圧の体位変化による変動. 第16回日本緑内障学会、熊本、2005年9月17日.

10) **橋本尚子、原岳**: 治療薬選択を目的としたラタノプロスト、チモロール・ゲル 4週試用の眼圧下降成績. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

11) **堀秀行、塙本宰、出田秀尚**: 栗のイガによる角膜異物を摘出した1例. 第29回角膜カンファランス・第21回日本角膜移植学会、徳島、2005年2月18日.

12) **堀秀行、田邊樹朗、福留みのり、塙本宰、川崎勉、出田秀尚**: トリアムシロンアセトニドのテノン嚢下注射を併用した光線力学療法. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

13) **出田秀尚、堀秀行、田邊樹朗**: 双眼倒像鏡を使おう～その基礎とコツ. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月8日.

14) **石崎こずえ、小幡博人、牧野伸二、茨木信博**: 穿孔性眼外傷の統計. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月8日.

15) **蕪城俊克、森洋斉、藤村茂人、幸山正、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊**: サルコイドーシス患者の血清中可溶性CD44濃度と全身病変. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

16) **梯彰弘、森加奈、木下望、山上博子、篠原正巳、川上正舒、金澤康徳**: 糖尿病網膜症モデル動物SDTラットの眼内におけるAGEの蓄積とVEGFの発現. 第11回日本糖尿病眼学会、名古屋、2005年3月6日.

17) **加藤健、牧野伸二**: MRIで病変部位が確認できた両側one-and-a-half症候群の1例. 第50回栃木眼科集談会、宇都宮、2005年11月18日.

18) **木野内理恵子、牧野伸二、保沢こずえ、近藤玲子、川崎知子、坂庭敦子、杉山華江、平林里恵、山本裕**

子:上斜筋低形成を伴った多小脳回症の1例. 第61回日本弱視斜視学会総会・第30回日本小児眼科学会総会合同学会、東京、2005年6月3日.

19)木下直樹、櫻井真彦、若林俊子、蕪城俊克、藤村茂人、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**:眼結核が疑われた6症例. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月8日.

20)木下望、**梯彰弘**、**森加奈**、**豆生田千浦**、**山上博子**:両眼硝子体手術にいたったインターフェロン網膜症の1例. 第51回埼玉県眼科集談会、さいたま、2005年8月28日.

21)木下望、**梯彰弘**、斉藤由香、高橋将文、小林英司、黒木昌寿、川上正舒、金澤康徳:SDT ラットの糖尿病網膜症に対するアミノグアニジン点眼の効果. 第3回SDTラット研究会、東京、2005年12月17日.

22)越野崇、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**、富所敦男、松尾寛、新家眞:ステロイド緑内障に対する線維柱帯切開術の成績. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

23)**久保田俊介**、**原岳**、**橋本尚子**、**久保田みゆき**、**水流忠彦**:ドルゾラミド点眼薬の点眼回数と眼圧下降効果について. 第109回日本眼科学会総会、京都、2005年3月26日.

24)**国松志保**、富田剛司、富所敦男、相原一、新家眞、吉川啓司、山崎芳夫、松元俊:緑内障様乳頭(glaucoma-like disc:GLD)の長期予後. 第16回日本緑内障学会、熊本、2005年9月16日.

25)**国松志保**、加藤聡、鷲見泉、田村めぐみ、三嶋明香、北澤万里子、小平奈利、落合眞紀子、柳澤美衣子:重度視覚障害者における疾患別生活不自由度. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

26)栗田尚幸、**国松志保**、間山千尋、富所敦男、新家眞:PENTACAMによる前房・隅角測定の再現性と臨床所見・UBM測定値等との相関. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月8日.

27)**牧野伸二**、**木野内理恵子**:先天性上斜視筋麻痺に対する下斜筋前方移動術の手術成績. 第28回日本眼科手術学会総会、大阪、2005年1月29日.

28)**牧野伸二**、**木野内理恵子**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**、**山本裕子**:乳児内斜視に対するプリズム治療:斜視角変化に及ぼす要因の検討. 第46回日本視能矯正学会、大阪、2005年11月26日.

29)**牧野伸二**:脈絡膜骨腫の2例. 第49回栃木県眼科集談会、自治医大、2005年4月17日.

30)三木隆治、吉田祥子、**梯彰弘**:自然発症2型糖尿病モデルSDTラットに対するサリドマイド投与の効果. 第48回日本糖尿病学会年次学術集会、神戸、2005年5月13日.

31)**森加奈**、**梯彰弘**、木下望、山上博子、川上正舒、金澤康徳:SDT ラットの糖尿病網膜症に対するグリクラジドの抑制効果. 第11回日本糖尿病眼学会、名古屋、2005年3月6日.

32)森洋斉、江口秀一郎、蕪城俊克、藤村茂人、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**、新家眞:サルコイドーシスぶどう膜炎に特異的な眼所見および検査所見. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

33)**小幡博人**、**臼井智彦**、**水流忠彦**:初発翼状片と再発翼状片の病理組織像の違い 翼状片は瞼裂斑から発生するのか? 第29回角膜カンファランス・第21回日本角膜移植学会、徳島、2005年2月17日.

34)**小幡博人**、**臼井智彦**、**水流忠彦**:外来患者1000人における翼状片と瞼裂斑の発生頻度と発生部位. 第109回日本眼科学会総会、京都、2005年3月25日.

35)**小幡博人**:小児の霰粒腫のマネージメント. 第49回栃木県眼科集談会、自治医大、2005年4月17日.

36)**小幡博人**、**青木由紀**、**水流忠彦**:再発性巨大結膜乳頭腫に対して羊膜移植術を施行した1例. 第23回日本眼腫瘍研究会、新潟、2005年6月25日.

37)**小幡博人**、**茨木信博**、**水流忠彦**:新しい涙点閉鎖術 涙点プラグ縫着術. 第59回日本臨床眼科学会、札幌、2005年10月7日.

- 38)小幡博人、森加奈、水流忠彦:テノン囊から発生した結膜下 MALT リンパ腫の 1 例。 第 40 回眼科臨床病理組織研究会、札幌、2005 年 10 月 10 日。
- 39)大島由利、蕪城俊克、藤村茂人、吉田淳、沼賀次郎、藤野雄次郎、川島秀俊:ステロイド大量療法とワーファリン療法を行った SLE 網膜症の 2 症例。 第 39 回日本眼炎症学会、横浜、2005 年 7 月。
- 40)佐伯忠賜朗、太田貴史、村田博史、国松志保、相原一、新家眞:マウス眼圧測定における小動物用眼圧測定機器 TonoLab とマイクロニードル法との比較検討。 第 16 回日本緑内障学会、熊本、2005 年 9 月 16 日。
- 41)佐々木誠、原岳、橋本尚子、水流忠彦:3 時間連続臥位における眼圧経過。 第 16 回日本緑内障学会、熊本、2005 年 9 月 16 日。
- 42)高本光子、蕪城俊克、川島秀俊、吉田淳、沼賀次郎、藤野雄次郎、藤村茂人、新家眞:難治性ベーチェット病に対してインフリキシマブを長期使用した 1 症例。 第 39 回日本眼炎症学会、横浜、2005 年 7 月。
- 43)高本光子、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊:難治性ベーチェット病に対してインフリキシマブを長期使用した 1 症例。 平成 17 年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班会議、福島、2005 年 12 月。
- 44)竹澤美貴子、茨木信博:自治医大眼科における加齢黄斑変性症に対する光線力学的療法の短期治療成績。 第 50 回栃木県眼科集談会、宇都宮、平成 17 年 11 月 18 日。
- 45)竹澤美貴子、牧野伸二、近藤千佳、金上貞夫:Shaken baby syndrome の 1 例。 第 43 回北日本眼科学会、旭川、2005 年 7 月 16 日。
- 46)竹澤美貴子、小幡博人、水流忠彦:結膜の MALT リンパ腫とクラミジア感染の関連。 第 29 回角膜カンファランス・第 21 回日本角膜移植学会、徳島、2005 年 2 月 18 日。
- 47)竹澤美貴子、佐々木誠、小幡博人:ゲンタマイシンが奏効したレボフロキサシン耐性淋菌性角結膜炎の 2 例。 第 59 回日本臨床眼科学会、札幌、2005 年 10 月 7 日。
- 48)竹澤美貴子、森加奈、加藤健、茨木信博:光線力学的療法の光干渉断層による治療効果の判定。 第 44 回日本網膜硝子体学会、大阪、2005 年 12 月 2 日。
- 49)富田斉、金上貞夫、松原正男:うっ血乳頭が唯一の所見であった特発性頭蓋内圧亢進症(偽脳腫瘍)の 1 例。 第 59 回日本臨床眼科学会、札幌、2005 年 10 月 9 日。
- 50)水流忠彦:角膜内皮細胞 機能と障害。 第 81 回沖縄眼科集談会特別講演、沖縄、2005 年 3 月 5 日。
- 51)横山由晶、橋本尚子、牧野伸二、水流忠彦:腎血管性高血圧症に合併した高血圧性脈絡膜症の 1 例。 第 43 回北日本眼科学会、旭川、2005 年 7 月 16 日。
- 52)横山由晶、牧野伸二:高ホモステイン血症が発症に関与したと考えられる網膜中心静脈閉塞症の 1 例。 第 44 回日本網膜硝子体学会、大阪、2005 年 12 月 3 日。
- 53)横山由晶、橋本尚子、牧野伸二、水流忠彦:腎血管性高血圧症に合併した高血圧性脈絡膜症 1 例。 第 49 回栃木県眼科集談会、自治医大、2005 年 4 月 17 日。
- 54)横山由晶、茨木信博:2 つの消毒液による手術直後の眼瞼皮膚、粘膜囊の細菌検出。 第 50 回栃木県眼科集談会、宇都宮、2005 年 11 月 18 日。
- 54)Aoki S, Obata H, Yanagisawa K, Hayakawa M, Ibaraki N, Tsuru T: The expression of ST2 gene in vascular endothelial cells and in mouse model of oxygen induced retinopathy. ARVO 2005 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, May 1, 2005.
- 55)Fujimura S, Kaburaki T, Haino M, Fujino Y, Numaga J, Yoshida A, Kawashima H, Araie M: Chemokine receptor CXCR3 deficient mice develop experimental autoimmune uveoretinitis. ARVO 2005

annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, May, 2005.

56) Fujimura S, Kaburaki T, Atarashi T, Fujino Y, Numaga J, Yoshida A, **Kawashima H**: Treatment and prognoses of 20 cases of acute retinal necrosis syndrome. 4th International conference on ocular infections, Sapporo, Oct, 2005.

57) Kaburaki T, Mori Y, Fujimura S, Numaga J, Fujino Y, **Kawashima H**: Soluble CD44 levels in sera of the patients with sarcoidosis uveitis. ARVO 2005 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, May, 2005.

58) Kaburaki T, Mori Y, Fujimura S, Numaga J, Fujino Y, **Kawashima H**: Soluble CD44 levels in sera of the patients with sarcoidosis uveitis. 4th International conference on ocular infections, Sapporo, Oct, 2005.

59) **Kakehashi A**, **Mori K**, Kinoshita N, Yamagami H, Shinohara M, Kawakami M, Kanazawa Y: Accumulation of Angiogenesis and VEGF expression in eyes of SDT rats. ARVO 2005 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, May, 2005.

60) **Kunimatsu S**, Kato S, Sumi I, Takamoto H, Kitazawa M, Tamura M: Evaluation of quality of life characteristics for visual loss causes. VISION 2005. LONDON

61) **Kunimatsu S**, Kato S, Tamura M, Mishima A, Sumi I: Evaluation of quality of life characteristics for visual loss causes. AAO 2005. CHICAGO

62) **Obata H**, Usui T, **Tsuru T**: Histopathological differences between primary and recurrent pterygium. ARVO 2005 annual meeting, Fort Lauderdale, Florida, May 1, 2005.

(C) 著書・総説

1) **橋本尚子**、**原岳**: 濾過胞漏出の鑑別と非定型症例. あたらしい眼科緑内障セミナー 22:1083-1084, 2005

2) **茨木信博**: 白内障. 今日の治療指針 2005 年版、医学書院、東京、1032-1033, 2005.

3) **茨木信博**: 術後眼内炎の基礎 抗菌薬の副作用. 術後眼内炎. 眼科プラクティス 1、文光堂、東京、246-249, 2005.

4) **蕪城俊克**、**川島秀俊**: サルコイドーシス～炎症性網脈絡膜疾患をめぐる最近の話題. Ophthalmic foresight 10:2-3, 2005.

5) **梯彰弘**: 糖尿病網膜症の三次予防. 内分泌・糖尿病科 20:313-319, 2005.

6) **梯彰弘**: 糖尿病網膜症・黄斑症 その病態と診断. Medical Practice 22:1711-1717, 2005.

7) **梯彰弘**: インターフェロン療法の眼の副作用は? Q&A でわかる肥満と糖尿病 4:1066-1067, 2005.

8) **川島秀俊**: 前房・虹彩所見の記載法、半定量的分類. 田野保雄(編). 眼科プラクティス、文光堂 東京、270-275, 2005.

9) **川島秀俊**: ベーチェット病の眼病変(病態・診断・治療). ベーチェット病～病因の解明と難治性病態の克服に向けて. 医学のあゆみ、医歯薬出版、1:55-59, 2005.

10) **国松志保**: One Point Advice UBM による隅角構造の理解. 眼科臨床に必要な解剖生理. 眼科プラクティス 6、文光堂、東京、144-145, 2005.

11) **国松志保**: 前房・隅角・虹彩・毛様体所見の捉え方と描き方 所見の分類と描画記載のルール 隅角開大度分類と記載法(解説/特集). 眼科プラクティス 文光堂 東京 4:281-283, 2005.

12) **牧野伸二**: 右目の涙がたまって炎症をくり返す女児. クリニック Q&A 2005 年春号 研友企画出版 東京:29, 2005.

- 13) 牧野伸二: 単眼性眼位検査. 眼球軸・視軸の検査. 小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美郁子編 眼科検査法ハンドブック 医学書院 東京: 84-86, 2005.
- 14) 牧野伸二: 単眼性眼位検査. 固視状態の検査. 小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美郁子編 眼科検査法ハンドブック 医学書院 東京: 86-88, 2005.
- 15) 牧野伸二: 左目がときどき焦点が合わないが、様子をみていてよいか? すこやかファミリー健康相談室. 2005 年 10 月号研友企画出版 東京: 30-31, 2005.
- 16) 益山拓、篠原正巳、**梯彰弘**: 新しい自然発症 型糖尿病モデル SDT ラット. 分子細胞治療 4: 523-526, 2005.
- 17) 小幡博人: 結膜の腫瘍. 日本の眼科 76: 34, 2005.
- 18) 小幡博人: 角膜移植. 第 58 回日本臨床眼科学会印象記 眼科 47: 613-614, 2005.
- 19) 小幡博人: 眼科医のための病理学 40. 霰粒腫の病理と臨床. 眼科 47: 87-90, 2005.
- 20) 小幡博人、野田実香: 眼科医のための病理学 41. 眼窩の偽腫瘍とは何か? 眼科 47: 207-212, 2005.
- 21) 小幡博人: 眼科医のための病理学 42. 眼瞼・結膜の色素性腫瘍 母斑細胞母斑. 眼科 47: 325-329, 2005.
- 22) 小幡博人: 眼科医のための病理学 43. 眼瞼の色素性腫瘍 脂漏性角化症. 眼科 47: 455-458, 2005.
- 23) 小幡博人: 眼科医のための病理学 44. 眼瞼の嚢胞性病変 類表皮嚢胞. 眼科 47: 755-758, 2005.
- 24) 小幡博人: 眼科医のための病理学 45. New Professionalism デルモイドとは何か? 眼科 47: 877-880, 2005.
- 25) 小幡博人: 眼科医のための病理学 46. 涙丘の解剖と病変. 眼科 47: 977-981, 2005.
- 26) 小幡博人、鈴木茂伸: 眼科医のための病理学 47. 網膜芽細胞腫 がん遺伝学の夜明けと病理. 眼科 47: 1113-1118, 2005.
- 27) 小幡博人、平形明人、Alan D. Proia、**青木真祐**: 眼科医のための病理学 48. 前衛と後衛-未熟児網膜症の病理. 眼科 47: 1233-1239, 2005.
- 28) 小幡博人、尾山徳秀、江口功一: 眼科医のための病理学 49. 涙腺の上皮性腫瘍 多形腺腫と腺様嚢胞癌. 眼科 47: 1341-1345, 2005.
- 29) 小幡博人: 眼科医のための病理学 50. 涙腺の非上皮性腫瘍 悪性リンパ腫と反応性リンパ過形成. 眼科 47: 1865-1869, 2005.
- 30) 小幡博人: 眼科医のための病理学 51. 結膜の悪性リンパ腫. 眼科 47: 1989-1992, 2005.
- 31) 小幡博人、征矢耕一: 角膜の加齢変化. 眼科 47: 1031-1039, 2005.
- 32) 小幡博人: 前眼部の良性腫瘍と悪性腫瘍. 眼科 47: 1724-1738, 2005.
- 33) 小幡博人: 翼状片の病態と治療. 眼科 47: 1917-1928, 2005.
- 34) 小幡博人: 水痘・带状疱疹ウイルス (VZV) による涙腺炎. あたらしい眼科 22: 1645-1646, 2005.
- 35) 小幡博人: 病理検査. 眼科検査法ハンドブック第 4 版、医学書院、東京、373-377, 2005.
- 36) 小幡博人: 角膜脂肪変性. 村上晶、真島行彦、**水流忠彦** (編) 角膜ジストロフィ・角膜変性、NEW MOOK 眼科 10、金原出版、東京、121-124, 2005.
- 37) 小幡博人: 眼瞼の解剖. 大鹿哲郎 (編): 眼科臨床に必要な解剖生理. 眼科プラクティス、文光堂、東京、30-36, 2005.
- 38) 小幡博人: 涙腺の解剖と涙液分泌. 大鹿哲郎 (編): 眼科臨床に必要な解剖生理. 眼科プラクティス、文光堂、東京、58-62, 2005.
- 39) **水流忠彦**: 眼科疾患治療の動向. 今日の治療指針 2005 年版、医学書院、東京、989, 2005.

- 40) **水流忠彦**:再発性角膜上皮剥離. オキュラーサーフェスのすべて、眼科診療プラクティス、文光堂、東京、258-262,2005.
- 41) **水流忠彦**:角膜移植の適応と術後管理. 日眼会誌 109:447-459,2005.
- 42) **水流忠彦**:角膜ジストロフィ・角膜変性症の定義と分類. 村上晶、真島行彦、水流忠彦(編):角膜ジストロフィ・角膜変性症.NEW MOOK 眼科 10、金原出版、東京、1-10,2005.
- 43) **水流忠彦**:眼科の手術. 出月康夫(監)、跡見裕(編):[全科]術前・術後マニュアル Expert Nurse11 月(臨増)、照林社、東京、170-173,2005.

(D) その他

- 1) **茨木信博**:最近どうも見にくいと感じていませんか? - 加齢性黄斑変性症の症状と治療を中心に -. 目の愛護デー記念行事、宇都宮、2005 年 10 月 2 日.
- 2) **梯彰弘**:糖尿病網膜症に対する SU 薬の効果. グリミクロン HA 錠 20mg 発売記念学術講演会、幕張、2005 年 1 月 21 日.
- 3) **梯彰弘**:糖尿病網膜症への薬物治療 - ニブラジルロールの新しい可能性. ハイパジール点眼液発売 5 周年記念講演会、さいたま、2005 年 2 月 19 日.
- 4) **梯彰弘**:スリットランプによる硝子体の見方. 第 2 回自治医科大学附属大宮医療センター眼科クリニカルカンファランス、さいたま、2005 年 7 月 16 日.
- 5) **梯彰弘**、秋葉純、高橋正孝:スリットランプによる動的硝子体検査. 第 59 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、札幌、2005 年 10 月 8 日.
- 6) **川島秀俊**:眼科の日常診療でよく見かけるぶどう膜炎~ベーチェット病とサルコイドーシスを中心に. 平成 17 年度第 5 回大宮医師会医学講座、さいたま、2005 年 7 月 15 日.
- 7) **川島秀俊**:ベーチェット病の病態・診断・治療. 所沢保健所ベーチェット病講演会、所沢、2005 年 10 月 27 日.
- 8) **牧野伸二**:斜視・弱視の検査方法と視覚障害者指導. 平成 17 年度 6 県合同眼科コメディカル講習会、2005 年 4 月 10 日.
- 9) **牧野伸二**:乳児内斜視の超早期治療.非観血治療. 第 61 回日本弱視斜視学会総会・第 30 回日本小児眼科学会総会合同学会、東京、2005 年 6 月 3 日.
- 10) **小幡博人**:翼状片手術. 第 28 回日本眼科手術学会インストラクションコース、2005 年 1 月 29 日.
- 11) **小幡博人**:感染性角膜潰瘍における塗抹検査の重要性. 第 15 回眼感染症セミナー、2005 年 4 月 22 日.
- 12) **小幡博人**:翼状片と角膜潰瘍の治療戦略. 杏林大アイセンター・オープンカンファ、2005 年 5 月 11 日.
- 13) **小幡博人**:瞼結膜腫瘍は眼瞼腫瘍か結膜腫瘍か. 第 23 回眼腫瘍研究会シンポジウム、2005 年 6 月 25 日.
- 14) **小幡博人**:翼状片の病態と治療. 第 59 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、札幌、2005 年 10 月 9 日.
- 15) **小幡博人**:眼表面の腺組織 涙腺、マイボーム腺、結膜杯細胞の解剖と病理. 第 40 回眼科臨床病理組織研究会学術奨励賞記念講演、札幌、2005 年 10 月 10 日.
- 16) **高橋雄二**:無縫合 ECCE の工夫. 第 10 回栃木県眼科手術談話会、2005 年 5 月 20 日.
- 17) **Kakehashi A, Mori K, Kinoshita N, Yamagami H, Kawakami M, Kanazawa Y**: Gliclazide prevents progression of diabetic retinopathy in SDT rats independent of blood glucose level. ADA65th Scientific Sessions. San Diego, California USA, Oct 14, 2005.
- 18) **Obata H**: Age-related Changes of Human Lacrimal Gland. The 11th Annual Meeting of the Kyoto Cornea

Club, Symposium: Aging of Cornea and Ocular Surface.